



# テアトル9ニュース

お芝居大好き！九条の会  
2017年5月28日 第77号

## 「共謀罪」の阻止に必要なのは…

稀代の悪法「共謀罪」が5月23日に衆議院を通過しました。この文章をみなさんが読まれる頃共謀罪法案がどんな状況になっているのか予想もつきませんが、私たちの内心・表現の自由が侵害され、政権の意向に沿った情報だけが流れ流される暗黒社会が目前に迫っています。お芝居を演じる劇団や私たち鑑賞会とも当然無関係ではありません。自由に表現することや、感じたことを自由に言うことが権力の監視対象とされる社会となってしまいます。

テアトル9では、坂本知可弁護士を招いて共謀罪についての学習会、例会場でのシール投票による共謀罪反対のアピールなどを行ってきましたが、みなさん共謀罪は危険な法律だと確信しています。ぜひご家族や友人・知人に「共謀罪怖いね、イヤだね」って話しかけてみましょう。「テロを阻止するためにやっぱり必要?」「危険だと思っているのは私だけ?」などと躊躇する必要はありません。大丈夫です。きっと「私もそう思う」と言ってくれるはず。近くの人たちと「共謀罪は危険だ」という思いを共有し、その思いを広げていくことが共謀罪の成立を阻止するため、今最も必要とされていることではないかと思います。(ちかまつ・松浪孝史)



### 4月例会(4月7,8日)時、文化ホール前で「共謀罪」のシール投票を行いました。

★「共謀罪」を 知っている:205 知らない:15  
★「共謀罪」に 賛成:1 反対:278 わからない:11

3月26日(日)坂本知可弁護士を講師に「共謀罪」の学習会を行いました。「テロ等防止対策」と説明していますが、知れば知るほど国民を監視する法案のように思いました。「スノー・デン」の映画を思い出しました。



## 5・3集会 “朝日新聞阪神支局襲撃事件を忘れない” に参加して

朝日新聞襲撃事件から30年にあたる5月3日「平和と民主主義を進める西宮・芦屋の会」主催の集会が開催。

当日は、小尻記者の遺影に献花した後、武蔵野大学教授・元NHKプロデューサー永田浩三さん(NHKスペシャルやクローズアップ現代など担当)の講演があり、タイトルは「日本のメディアの何が課題か、私たちに何ができるか」でした。その要旨を報告します。

- 記者が死亡したのは、日本の言論史上初めて。小尻記者は指紋・押捺問題やいじめ問題などを熱心に追っていた。
- 犯行声明文の戦後体制否定・戦前回帰の思想は、安倍首相が進める「戦後レジームからの脱却」に直結している。
- 我が国でも、歴史教科書への攻撃、NHKへの番組変更の圧力(慰安婦報道)、横浜事件(中央公論・改造への解散要求)など権力による言論の弾圧が数多くあった

- 共謀罪の問題点として、組織犯罪条約はテロ対策のものではなく、日本はテロ対策13条約は全て批准しており、立法の必要がない。また、恒常的な監視が行われ、憲法の保障する思想・信条の自由、表現の自由が侵害される恐れがある。
- 阪神支局襲撃事件は、歪んでひ弱な歴史認識の捌け口を朝日に向けたもので、安部政権の「日本の歴史を取り戻す」という思想につながる。朝日でも古川調書謝罪から優秀な記者の退社が続いていて、朝日を孤立させず、メディアがスクラムを組んで市民と連帯する事が必要。

最後のまとめとして、メディアは地道な取材、事実によって語る事、市民は良い記事や番組を応援し、ひどい記事にはきちんと抗議する事が必要。現場で本当頑張っている記者は少数派のことが多く、読者の一本の電話や手紙が大きな力になるとのことでした。

(ちかまつ 圓田重則)



## 『すべての国が戦争を放棄する日』ピースリーディング2017

石原燃+非戦を選ぶ新劇人の会 作 合田幸平 演出

アコとユウスケ 二人の若者の往復書簡を軸に高江、宮古、石垣、与那国と県内さらにはシブチ、ファルーシャで今何が起きているのかを重層的に展開する。オスプレイ・ヘリパットの建設。これは45年前の復帰の時県民が願った沖縄の本土化、本土並みではなく、本土の沖縄化の象徴である。ここに登場する様々な人間模様を横軸とすれば、日本国憲法9条の提案者幣原喜重郎の発言は重厚な縦軸である。昭和初期右翼、軍部から軟弱外交、腰抜け外交はては国賊とまで侮辱された幣原。マッカーサーも驚いた「戦争放棄」は1928年のパリ不戦条約を

始源とする戦争違法化への大道に沿ったものであり、リベラリスト幣原喜重郎の信念に基づく最期の決断であった。今この時を生きるわたしたちは幣原の言う“狂人”の意味を深く考えなければならない。政治家のあまりにも軽薄な言動に唾然とすること多く、それに対する批判の言葉も虚しく響き言葉の無力さに捉われる昨今、確固とした思想から発せられる選りすぐられた言葉に力強さと清々しさを感じる。その言葉を的確に捉えドラマの核に据えた作家の慧眼と力量に敬意を表したい。やはり言葉の力を信じた

(なんじゃもんじゃ・上原良蔵)

### 歌って・笑って・守ろう・平和

#### —芸人9条の会—

連休の最後の7日、大阪東成区民センターで“芸人9条の会”が行われた。700人ほど入る会場は満席。おはやして幕が開き、笑福亭竹林が登場。いきなり懐から“安倍政治を許さない”のポスターをだし、お話し中にこんなチラシをかざしたり、シュプレヒコールをしないでと、携帯を切ることと併せて枕に喋ると客席は大笑い。平和を守る芸人の舞台と9条を守る客席は早くも一体感に湧く。中入りも含め約3時間半、落語の古今亭菊千代、笑福亭銀瓶、桂文福、松元ヒロ。パギやん(趙博)そして、ナオユキに中山千夏と芸人が登場。なかでもナオユキは初めての出会い。「イカレタ酒場で飲む客は、そろいもそろってイカレテル」と漫談風に、ポツポツと庶民の悲しみや嘆き、あきらめ、怒りを語る芸は、間の取り方も素晴らしく、客席を笑いの渦に引き込んだ。

関西の笑いは「伸助」以降、いじめやいじりになり、ユーモアや風刺に欠けてると云われている。舞台は、時事放談に安倍政治への風刺や批判が芸人の芸として演じられ、庶民—私たちの想いや怒りを代弁していて素晴らしい「芸人・9条の会」だった。こういう会が神戸でも全国(福島県では公演)で開かれるといい。(ちかまつ・米田哲夫)

### 5・3兵庫憲法集会

#### —沖縄、平和、憲法、そして私たちの未来—

5月3日、戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会主催の憲法集会がありました。

会場は1200名の参加で満席。オープニングは“ゆがふバンド”による沖縄の歌。“サーユイユイ”のかけ声と指笛で会場は一気に沖縄カラー。

主催者羽柴弁護士の挨拶の後、若手弁護士あすわかメンバーによる『え、共謀罪？悪い事してへんかったら大丈夫…よね？』の劇が上演。市民を守るために、市民を監視するお巡りさん？？やっぱり共謀罪は怖い！と実感。

メインは衆議院議員・糸数慶子さんのお話。沖縄戦で多くの被害を受けた住民、そんな悲しい中で両親が出会い、自分の出生を語る。戦後も米軍占領下、理不尽な扱いを受け、日本に復帰した今も日米の政府から圧力を受けている沖縄。話を聞きながら、沖縄を捨石にしてきた今までの歴史を、どう受け止めていくのか改めて思いました。糸数さんの話は、多くの沖縄の人達の思いを代弁しているようで、聞き入っていました。

同日、日本会議の集会で安倍首相が2020年に憲法改正を、とのメッセージをおくったとニュースで報道。

沖縄の民意を無視して辺野古埋め立てを強行する現政権にまた怒りがこみ上げてきた。(パピヨン・田中千津子)

### お芝居大好き！九条の会～テアトル9 って何??

2004年、井上ひさし、大江健三郎等9名の著名人が日本国憲法9条を守る「九条の会」を結成。その呼びかけに応え、演劇鑑賞会の会員有志で2005年「お芝居大好き！九条の会～テアトル9」を作りました。

月1回世話人会を持ち、ニュースを発行しています。興味のある方は、一緒にしませんか？下記世話人までご連絡を。

児玉 090-8209-2391

米田 090-8658-8579

谷中 090-2101-4579

田中 090-8493-3378